

林木育種のプロフェッショナル

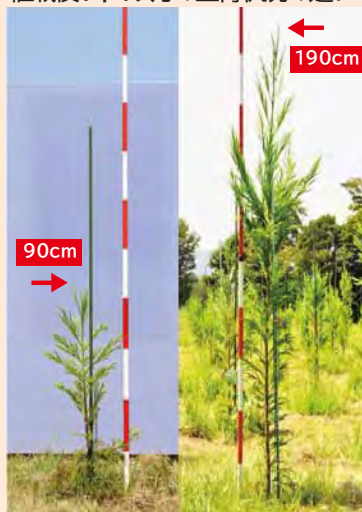
～林木育種センター・森林バイオ研究センターにおける林木育種の取組～

林木育種センターと森林バイオ研究センターは、国内最大の林木育種機関で、林業用の樹木の品種改良、先端技術を用いた育種期間の短縮、遺伝資源の収集・保存、林木育種の海外協力などに取り組んでいます。

【優良品種の開発】

- 成長が良く、形質に優れた品種（通直性など）
- 材質の良い品種（強度、ねじれ、含水率など）
- 環境保全等に有効な品種（花粉症対策など）
- 病虫害・気象害に強い品種（松枯れ、雪害など）

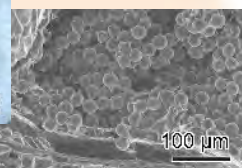
植栽後1年4ヶ月の生育状況の違い



現在普及しているもの

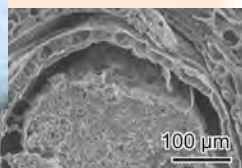
エリートツリー

一般のスギ



葯の中には丸い粒状の花粉が見えます

無花粉スギ



葯の中には花粉が全く見えません

【林木遺伝資源の収集・保存】

- 優良品種開発の材料
- 新需要の創出
- 絶滅危惧種、天然記念物など



コウヨウザンの伐根からの萌芽枝(左)と萌芽枝を用いたさし木苗(右)

【林木育種の海外協力】

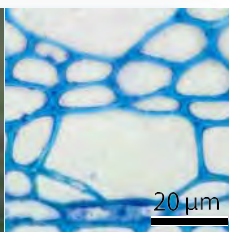
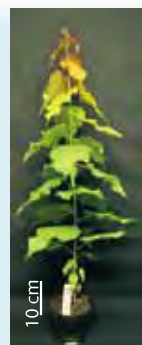
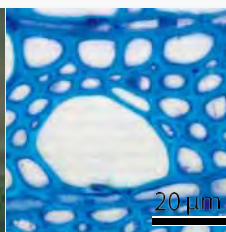
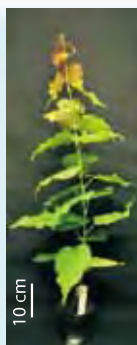
- 国際的な技術協力・共同研究
- 海外の林木育種に関する情報の収集



テリハボクの国内検定林(左)と台湾の試験地での調査(右)

【森林バイオ分野の研究】

- ゲノム編集による林木の育種技術の高度化
- 林木の有用形質発現の分子メカニズムの解明
- バイオテクノロジーによる機能性樹木等の組織培養技術の開発



木質が強化され細胞壁が厚くなった組換えポプラ(左)と非組換えポプラ(右)



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所 林木育種センター

森林総合研究所 森林バイオ研究センター